



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

2019年6月10日

ベトナム国連安全保障理事会入り

7日の国連総会で、国連安全保障理事会（15カ国）の非常任理事国のうち来年1月から2年間を担当する半数の5カ国を選ぶ選挙があり、アジア太平洋枠でベトナム、アフリカ枠ではニジェールとチュニジアが選ばれた。東欧枠からエストニア、中南米枠からセントビンセント・グレナディーンがそれぞれ初選出された。

ベトナムのダン・ディン・クイ国連大使は、事前のインタビューでベトナムの候補への支持を文書で示している国は120カ国以上、口頭で支持を示している国は30カ国以上であると述べていた。選挙で当選するには国連加盟国193カ国の3分の2の賛成を得る必要があった。

ベトナムの安保理非常任理事国入りは2008～2009年期について2回目。2008年7月と2009年10月には安全保障理事会の議長国を務めたこともある。

国連安全保障理事会は国連の主要機関の一つであり、5カ国（米、露、中、英、仏）の常任理事国と各地域に配分され、選挙によって選出される10カ国の非常任理事国から構成される。非常任理事国の任期は2年とされている。

以上